

移植外科

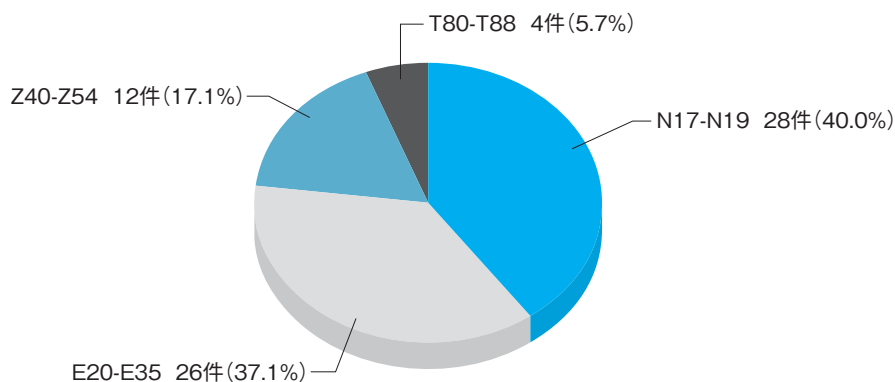
1. 概要

2010年4月より移植外科が標榜されて以来、移植外科医2人体制であったが、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動となり、移植外科医は1名となった。2012年10月からは東三河において唯一の腎移植認定施設となってしまったため当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている。また他院で移植された腎移植患者や肝移植患者の定期通院も受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。2015年の腎移植症例は生体腎移植6例、献腎移植2例であったが、生体腎移植目的の紹介患者は年々増加しており、今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また、長期透析に伴う二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺手術も年々増加しており、近隣透析施設との病診連携も密に行われている。

（部長 長坂 隆治）

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：70件



ICD-10 中間分類項目

N17-N19：腎不全

E20-E35：その他の内分泌腺障害

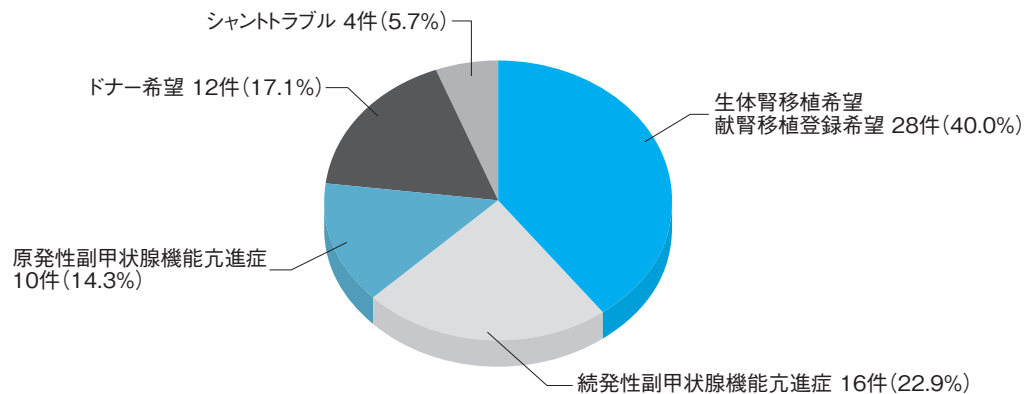
Z40-Z54：特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者

T80-T88：外科的及び内科的ケアの合併症，他に分類されないもの

3. 活動報告

(1) 疾患別頻度

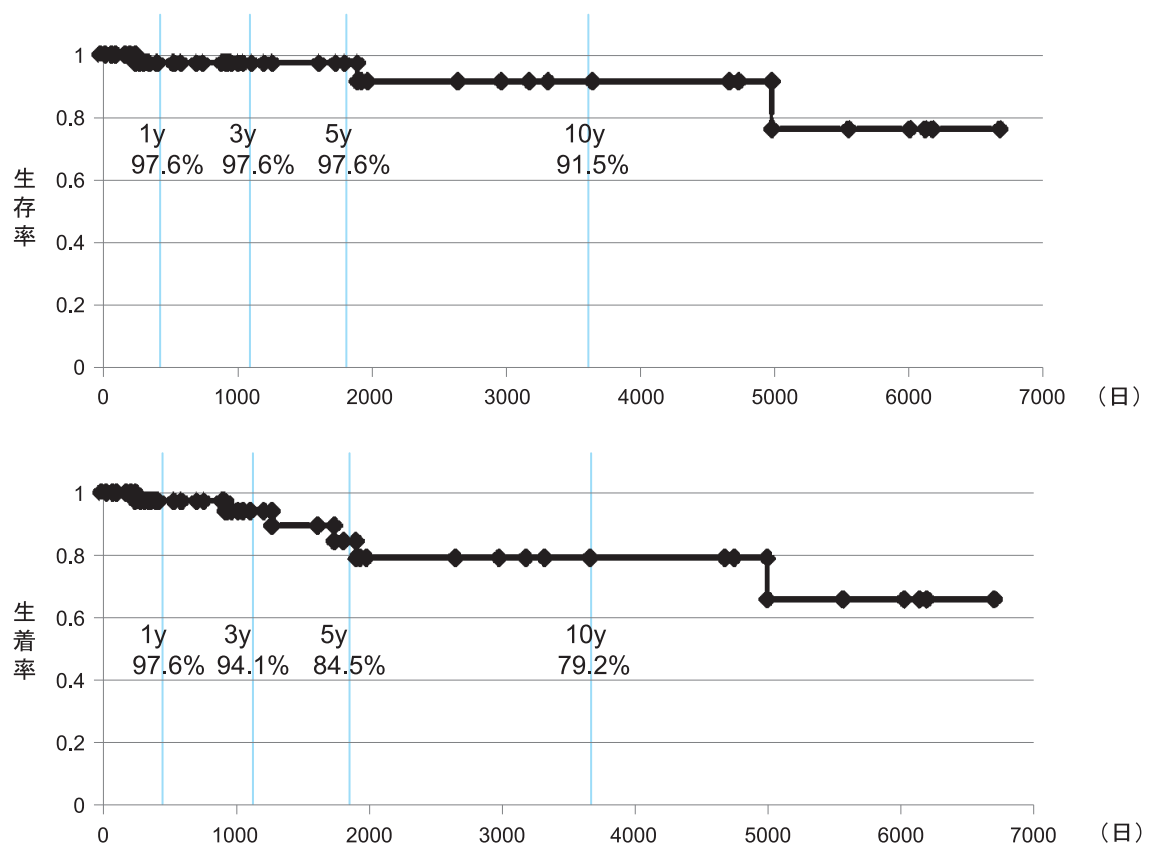
総件数：70件



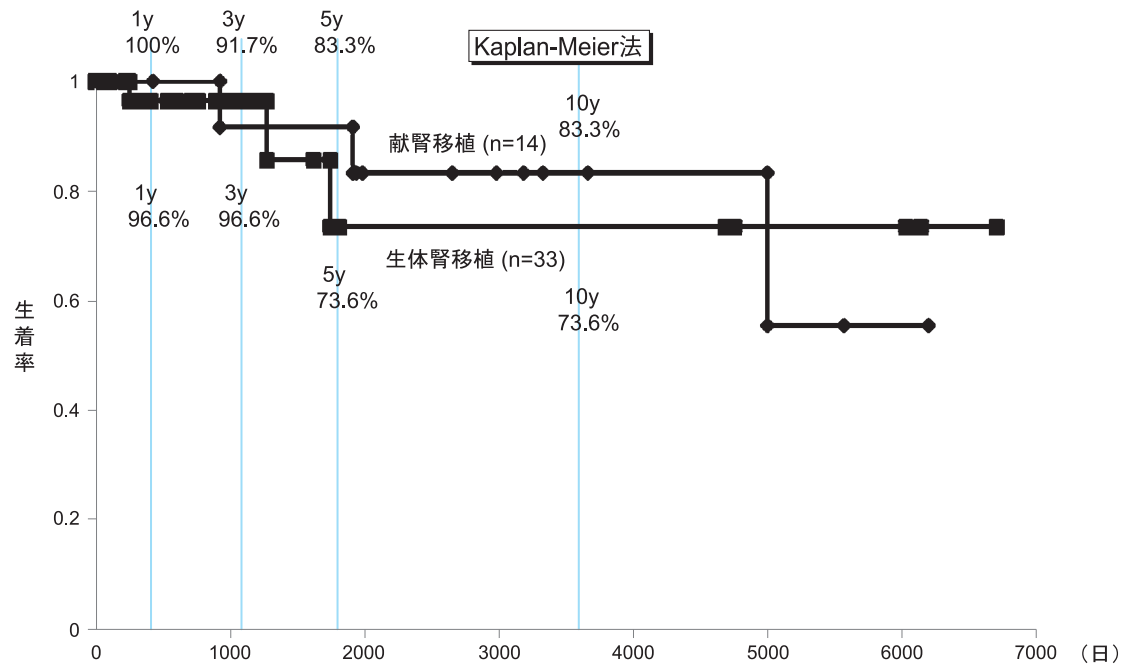
(2) 外来患者の状況（2016年4月現在）

	外来種別	患者数（人）		外来種別	患者数（人）
1	腎移植後	58	4	献腎移植登録外来	109
2	肝移植後	6	5	副甲状腺手術後	31
3	脾移植後	1		計	205

(3) 当院腎移植症例の生着率と生存率（2016年4月現在）



(4) 当院腎移植症例の生着率（生体腎移植 vs 献腎移植）（2016年4月現在）



学会発表（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	胃GISTおよび肝転移に対しイマチニブ内服を維持しえた1例	筆頭演者	長坂 隆治	第48回日本臨床腎移植学会	2015/2/6
2	内シャントの過剰血流を外科的に治療し肺高血圧症の改善を得た一例	共同演者	長坂 隆治	第60回日本透析医学会学術集会・総会	2015/6/27
3	3DCT画像を利用したバスキュラーアクセス管理	筆頭演者	長坂 隆治	第60回日本透析医学会学術集会・総会	2015/6/28

研究会発表（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	高度な骨病変を来した二次性副甲状腺機能亢進症の術後2年目において、著大な骨所見改善がみられた一例	筆頭演者	長坂 隆治	第23回八事PTx	2015/04/21
2	3DCT画像構築によりバスキュラーアクセス評価が有用であった症例	筆頭演者	長坂 隆治	第31回腎移植・血管外科研究会	2015/7/10

座長・司会（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	レシピエント②	長坂 隆治	第48回日本臨床腎移植学会	2015/2/5
2	バスキュラーアクセスー(2)	長坂 隆治	第31回腎移植・血管外科研究会	2015/7/10

講 演（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	感染症に対する心構え	長坂 隆治	第101回移植セミナー	2015/3/22
2	臓器提供症例報告	長坂 隆治	第41回愛知県施設内移植情報担当者会議	2015/06/12
3	院内コーディネーターとしてこれまでの経験	長坂 隆治	臓器提供院内講演会（岡崎市民病院）	2015/08/24

論文・著書(医局)

<移植外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	当院におけるNBC災害訓練の取組	共同著者	長坂 隆治	日集団災医会誌. 2015; 20: 71-75.